

令和3年10月市長定例記者会見

日 時：令和3年10月12日（火） 午後1時30分～

場 所：射水市役所会議室302

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、読売新聞、富山テレビ放送、
チューリップテレビ、エフエムいみず、庄東タイムス、
ホットライン KOSUGI

当局出席者：市長、企画管理部長、財務管理部長、企画管理部次長、
未来創造課長、生涯学習・スポーツ課長、子育て支援課長、
商工企業立地課長

○質疑応答の概要

Q 1. 自宅療養者への買い物の代行を行う取り組みは、この冬に来るかもしれない新型コロナウイルス感染症の第6波に備えて新しく行うのか、それともこれまでもやっていたのか。

A 1. 本市においては、春に障害者支援施設でクラスターが発生し、多くの方が自宅待機を余儀なくされる事態が起きた。その際に買い物に行けない方を対象とし、食料品や日用品を希望される方にお届けする取り組みを県厚生センターと連携して行った。今回はこの取り組みをベースとし、今後感染し自宅待機を余儀なくされ、外出できず日用品の買い物に困るケースが起こった場合、あるいは想定される場合、厚生センターのほうから本市のサービスについて自宅療養者へ情報提供をしていただき、サービス利用を希望される方から本市へご連絡をいただき買い物を代行する動きとなる。これまではっきりとした仕組みとしては行っていなかったが、対応できる体制にはなっていた。今回、県のほうからスキームも明示されたことから、改めてこういう仕組みをしっかりと整えた。

Q 2. 買い物代行の取り組みは、既に制度が始まって利用された方がいるのか、それともまだ体制を整えて夏のような感染が起きたときに制度としてこれからやっていくのか。

A 2. 仕組みそのものはすでに整っていて、今そういう要請があった場合には対応できる。昨今の感染状況を考慮すると、ご家族で感染されるケースが増えており、特に小さいお子さんがおられる場合、なかなか入院して別々の病室に入るのが難しく、自宅療養を選択されるケースも想定される。そういった場合にこういったサービスをご利用いただければと思う。

Q 3. 木簡の出土が県内5例目とのことだが、「呪符木簡」として5例目なのか、「急々如律令」と書かれた木簡として5例目なのか。

A 3. 「急々如律令」と書かれている「呪符木簡」の出土の事例が県内では本市のもので5例目となる。

Q 4. 10月31日執行の衆院選について、市長としてのスタンスを伺いたい。

A 4. これまで現職として、この第3選挙区、また射水市の課題にご配慮いただき、それぞれの事業の進捗や様々な要望を聞いていただき、それらの実現・推進にご尽力いただいていた橘慶一郎氏を応援させていただきたい。

Q 5. LINEを活用した出生祝いクーポンについて、LINEができない人がいた場合に、全員に恩恵が行き渡るよう代替えの措置は考えているのか。

A 5. LINEを利用しない方への手立てについては、クーポン券をご利用いただける手法を今後、システム構築受託事業者と連携を図りながら検討していきたいと考えている。